



西村 功 《ポルトアイランドと神戸》1990年 当館蔵

開館15周年記念企画展

ゆかりの美術館

ギフトの物語

～市役所・北野から、震災をこえて～

2022

4/23 → 6/26
SAT SUN

■前後期で展示替があります

前期 4月23日(土)～5月22日(日)

後期 5月24日(火)～6月26日(日)

主催/神戸ゆかりの美術館 休館日/毎週月曜日

開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

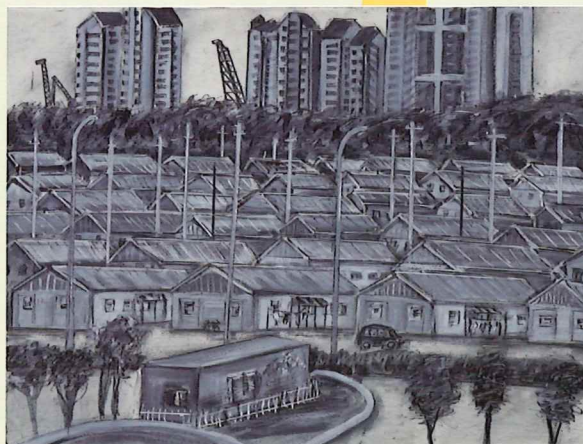
入館料/一般200円(150円)、大学生・65歳以上100円(50円)

* ()内は30名以上の団体割引料金

* 高校生以下・神戸市内居住の65歳以上の方、無料

* 小磯記念美術館、神戸ファッション美術館の入館券(半券)をお持ちの方、割引

* 館内では新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。



吉見 敏治 《六甲アイランド仮設住宅(神戸市東灘区)》1997年 当館蔵(後期展示)

神戸ゆかりの美術館

KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1 TEL.078-858-1520

<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>

開館15周年記念企画展
ゆかりの美術館

ギフトの物語

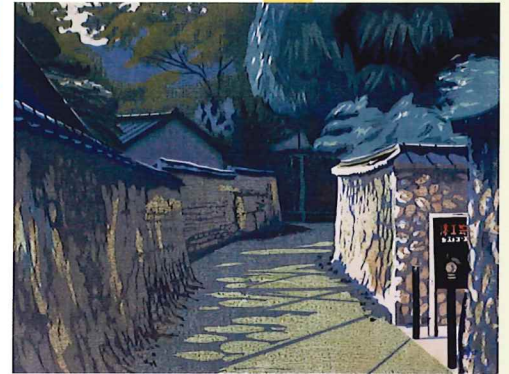
～市役所・北野から、震災をこえて～



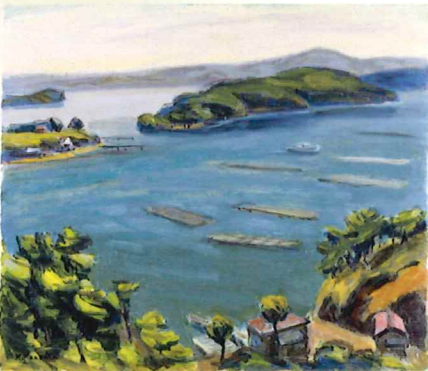
坂本 益夫《港》1954年頃 油彩



田中 志雄《礼幌の並木路》1952年 油彩
(北野 White House コレクション)



突々 和夫《石塀の道》1987年 木版 (後期展示)



川端 謹次《志摩風景》1957年 油彩



西村 功《ホワイトハウス》1988年 素描 (前期展示)
(北野 White House コレクション)



品川 祐治郎《兵庫運河》1949年 水彩 (前期展示)
(北野 White House コレクション)



小松 益喜《もえぎの館と風見鶏》1989年頃 油彩

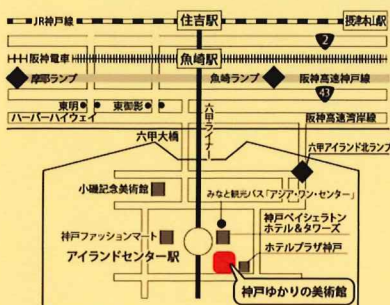
神戸ゆかりの美術館は、神戸ファッション美術館の北側展示室を改修して2007年3月23日に開館しました。市役所や文化ホール、相楽園会館、文書館、勤労会館、区民センターなどの施設に飾られている郷土作家の作品を、市民に見ていただけるよう集約しました。

以来、ゆかりの作家の受贈記念展や企画展を年4回開催してきた当館は、小磯記念美術館との重複を避けて、ここ数年アニメーション、漫画原画、絵本原画の展覧会も開催し、より幅広い年代の人々に楽しんでいただけるよう運営しています。

開館から15周年を迎える本展では、最近解体された神戸市役所2号館(1957年竣工)が出来た頃、画家たちが神戸市へ贈った絵画の展示から始め、震災を描いた新収蔵品など、作品が美術館へやって来た道(舞台裏)を紹介します。

1988年から震災まで北野の観光振興と文化拠点であった「ギャラリーWhite House」が収集した絵画と彫刻、阪神・淡路大震災後にレスキューされた小松益喜の作品、神戸市文化賞を受賞した作家たちの寄贈品など100点以上を展示します(会期中、一部展示替します)。

*作品はすべて当館蔵



神戸ゆかりの美術館 KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2丁目9-1
TEL.078-858-1520
<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>

アクセス

- JR[住吉駅]、阪神[魚崎駅]のりかえ、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ
- 阪急[御影駅]のりかえ、みなと観光バス「阪急御影駅南」バス停から「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分
- お車の方は美術館隣接の神戸ファッションプラザ駐車場(1日最大550円)をご利用ください。
- 阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプより約3分
- 阪神高速神戸線「魚崎」「摩耶」ランプより約10分